

CRT 栃木放送 2019年3月13日(水)収録

春休みの過ごし方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 今年の受験もほぼ終わり、合格した受験生の皆様は将来への希望に胸がはち切れるくらいの喜びの日々を送っていることと思います。
- (2) 一方、懸命の努力にもかかわらず、残念ながら第 1 志望校合格を果たせなかった受験生の皆様は、ひそかに合格できた学校でのリベンジを思い、少し辛い日々を過ごしておいでかと思えます。
- (3) 進学先の決まらない受験生の皆様は、来年どうするか、大きな決断を迫られていると思います。このように自分の置かれている立場、状況によって悲喜こもごも、様々な過ごし方をするのが毎年の受験生です。どうか、「自己責任」「自助努力」「自分の潜在能力は自分の力で発見し、自分の力で引き伸ばす」「自分の未来は自分の力で切り開く」「あきらめたらおしまい」「ネバー・ギブアップ」の精神で、この3月を乗り切ってください。

2. 春休みの過ごし方

- (1) 本日、3月23日(土)の開倫塾の時間では、来週から約2週間続く春休みの過ごし方についてお話しします。小学6年生、中学3年生、大学生の皆様などはすでに春休みに入っていますね。
- (2) 「春休みは何のためにあるか」といえば、1学年の疲れを取る、ストレスを解消し、新しい学年、新しい学校に備えるためといえます。学校を卒業し、4月から社会に出る皆様にとっては、この春休みが学校時代の最後の休みとなりますから、極めて意味深いと考えます。
- (3) 期間が短いですから、よく作戦を練って、充実した日々を送って頂たく思います。

3. 春休みには次学年の徹底的な予習を

- (1) この開倫塾の時間は、社会人を含めた「効果の上がる勉強の仕方」を考える番組ですので、春休みは次の学年の予習、それも徹底的な予習をすることをお勧めする以外にありません。
- (2) もちろん、今の学年の内容やその前までの学年の内容がよくわかって身に着いていなければ、新しい学年の予習をしてもはかどることは難しいです。そこで、弱点科目や得意な科目でも弱点分野は、この春休みにゼロからの「大復習」をお勧めします。
- (3) よくできる科目は、新学年の予習を徹底的に行う。不得意な科目や得意な科目でも不得意の分野は、よくわからないところまで遡(さかのぼ)って復習をし直すこと。これを春休みにお勧めします。

4. 学校の教科書は1日も早く全部読んでしまおう

- (1)ただ、新しい学校の教科書が配付されたら、もう自分のものですから、誰に遠慮することなく1ページ目から最後のページまでどんと、1日も早く全部読み終えることをお勧めします。
- (2)わかってもわからなくても、とにかく、わたされた教科書は一通り全部読む。音楽、美術、保健・体育、技術・家庭も全部読む。これが春休みからゴールデンウィークが終わるくらいまでの私がお勧めする「教科書」の予習です。
- (3)その中で興味のある科目は、教科書の大切な語句をノートに書き写しながら、どのようなことか考える。私は、中学3年生のときに「公民」(以前は「政治・経済」といいました)の教科書を頂いたその日から読み始め、大切と思われる語句をノートに書き写したおかげで、社会が大好きになった覚えがあります。

5. おわりに

- (1)そうはいつでも、春休みは皆様のお休みです。楽しいこともたくさんしてください。
 - (2)お勧めは、保護者のお許しを得て、1日がかりの小さな旅を市内でもいいし、隣の街でもいいので、ちょっと出かけてみることです。美術館や博物館、神社やお寺、史跡や公園めぐりなども面白いですよ。
 - (3)私の趣味は、日帰り温泉とカフェめぐりなので、今年の春休みも出かけてみたいなと思っています。
- *本日3月23日(土)は、足利高校のときの同窓会が本当に久しぶりに開かれます。春休みに同級生と会うのもいいですね。皆様はこの春休みをどのようにお過ごしになりますか。

以上